

地域・企業における女性活躍推進事業【糸島市】

地域の実情と課題

現在、糸島市においても高齢化率は25.3%と、全国平均を上回っている状況で、少子高齢化が差し迫った課題となっており、企業や地域はもちろん、女性自身も意識を変えていくことが求められている。

このような状況を踏まえ、今後、男性が安心して暮らすことができる社会となるためにも、女性が活躍できる社会を目指すことの意味を広く周知・啓発することで、地域や企業における女性の活躍を推進する必要がある。

事業の特徴

- ① 女性の活躍推進のための講演会
- ② 取組事例調査
- ③ 優良事例等の取材による「事例集」「啓発用パワーポイント」作成
- ④ 学生の活用及び啓発

事業の効果

●企業や地域における男女共同参画への理解が深まり、女性の就業環境整備の必要性についての認識が高まった。

●事業に関わった学生の女性活躍推進に関わる意識が高まり、女性が働き続けることの意義や女性の労働環境、ライフキャリア等について考えることができた。

目的・目標

- ①福岡県子育て応援宣言企業の増加
- ②九州大学との連携
- ③講演会参加者数の増加

連携団体

- 糸島市教育委員会 ⇒ 後援
- 国立大学法人九州大学 ⇒ 協力依頼
- 糸島市商工会 ⇒ 協力依頼
- 男女共同参画推進団体 ⇒ 実行委員会を組織し、事業実施

今後の課題

●本市は小規模企業が多く、各企業の事情もあり、先進事例の紹介が直ちに女性活躍推進に結びつくわけではないが、地道に啓発活動を継続し、働きかけを続けていく必要がある。

●若年者への啓発やキャリア教育は、長い目で見れば女性の活躍推進、地域経済の活性化に大変有効である。就労を継続している女性や経営層・管理職の女性等の多様なロールモデルが身近にいない場合も多いため、女性が働き続けることの意義や働き続けるための職場の選び方、自分のライフキャリア等について考えるための情報や体験の機会を今後も提供していく必要がある。

1 みなづきフォーラム開催

女性が新たに起業したり職場で活躍したりすることが、地域経済の活性化にとって重要なものであることから、地元企業や市民の理解を深め、女性の活躍を推進するため、仕事と家庭生活を両立できる職場や社会の環境整備を進めることを目的としたフォーラムを開催した。開催にあたっては、商工会や教育委員会と連携し、広く市内企業や地域役員への参加を呼びかけた。

【日 時】 6月20日(土曜日)13時～15時

【会 場】 糸島市人権センター

【テーマ】 地域・企業における女性の活躍推進に向けて～わたしらしく、あなたらしく～

【講 師】 落合恵子(作家、クレヨンハウス主宰)

【参加者】 314人

【その他】 開演前にワーク・ライフ・バランスの啓発DVDを上映

2 「男女共同参画推進企業紹介事例集」の作成、配付

子育て支援や女性の活躍推進の分野において、既に先進的に取り組まれている事業例を調査収集し、啓発冊子として「事例集」と啓発用の「パワーポイント」を作成した。作成にあたっては、商工会や九州大学と連携し、九州大学の学生を中心に、調査書や報告書、データ作成を行い市内事業者に配布した。

【時 期】 平成27年4月1日～平成28年3月31日

【協力者】 九州大学教育学部1年生 4人

【内 容】 5月 : 市内企業社に女性活躍推進の取組に関するアンケートを実施し、取組事例を調査
5～7月 : 学生に男女共同参画の基本的な知識や企業訪問する際の接遇等について講義
訪問企業選定、事前準備(3回)
8～10月 : 訪問、取材
11～2月 : 編集
3月 : 事例集印刷・製本、配布

